

【市からのまとめ】

- ・ 皆さまから7つの議題をいただいたが、すぐにできるものとできないものがあった。
- ・ ひばり放送の設置については、一昨年から要望をいただいております、平成21年度に設置していきたい。
- ・ その際、用地の関係などいろいろあるので、そのときにはご協力をお願いしたい。
- ・ 相模総合補給廠北側道路については、今回の日米合同委員会の返還の合意前から了解を得ていたものであり、市から出した案に対して、倉庫から10メートル離れてほしいとの要望が米軍からあった。
- ・ しかし、その場合には、民家に大きく影響するので、極力影響がないような形を年内にまとめ、年明けには皆さまに説明を行い、そこで了解いただければ、その後具体的に1つ1つ調査し、米軍との返還交渉に移りたい。
- ・ 都市計画道路宮上横山線については、平成11年に計画した都市計画決定であり、一時凍結し、用地交渉できなかった経過があるが、今年度から改めて進めていきたい。
- ・ 用地が取得できたところだけでも、先に道路を整備することを含めて進めていきたい。
- ・ 大事な道路なので、極力予算を獲得しながら実施していきたい。
- ・ 公民館の大規模改修については、昭和55年以前の建物は、麻溝公民館を除けば終了し、今後は小山、相原、清新、星が丘、中央、相武台の公民館が対象になるが、まず計画に載らないと進まないのので、今年度計画に位置づける予定でいる。
- ・ 新築や移築は今のところないので、大規模改修や増築になるが、増築になれば、PTAの皆さまなどのご協力も必要になるので、ぜひご協力をお願いできればと思っている。
- ・ 雨水対策については、今までは時間降雨量31ミリ対応であったが、現在は51ミリ対応で都市下水道を整備しており、平成26年ぐらいまでに整備する予定で進めているところである。
- ・ さらに、雨水調整池の対応も行ってきた。
- ・ 基本的にはこうした整備により対応したいが、くぼ地などにより常習的に浸水が起こる地域は、浸水被害警戒地域の指定を行い、ある程度の量の雨が降ったときには、パトロールを強化して、土のうを積んだり、ポンプを用意したりするなど、注意していきたい。
- ・ 防災体制が遅いのではないかとのご指摘があったが、限られた予算の中で、計画的にポンプを配置するなどにより、体制を図っていききたいと考えている。
- ・ 宮下2丁目付近は、2次警戒地域等に指定した中で対応し、雨が降った際、土木部や消防局、防災安全部による体制をしいて、パトロールを行い、注意していきたい。
- ・ 今回の豪雨については、落雷により停電があり、皆さまにご迷惑をおかけした。
- ・ 落雷の関係については、現在その対策を行っているところである。
- ・ 局地的に降った場合、今まで水が発生しなかったところにも水が出てくるので、そういう地域を指定して、パトロールの際にもそういう地域を中心に対応していきたい。
- ・ ひとり暮らし高齢者などの情報提供については、災害弱者を把握することと、その情報を共有化することが重要である。
- ・ 個人情報保護の関係から、目的外に使用する際には本人の許可が必要であるが、国からもそうしたことを乗り越えて実施してほしいとの通知があり、市長も、平成22年まで待つのではなくて、早期に実施するよう言われているので、できるだけ早期にそうしたものをつくり上げていきたい。
- ・ 相模総合補給廠については、土地利用計画をつくり上げることが大事であり、その計画が1つの

交渉材料になる。

- 6月に17ヘクタールの返還について日米合同委員会で正式合意されたので、今後は共同使用区域35ヘクタールや横浜線沿いの補給廠南側道路についても計画を策定し、日米合同委員会合意が早期にされるよう対応していきたい。
- 17ヘクタールの返還については、まず、88戸ある家族住宅を小田急相模原付近の相模原住宅地区に移すことになるが、国の本年度予算で移転先の配置計画等をつくった後、移転するとのことである。
- 皆さまが長年努力してきた結果なので、まちづくりに活かしていきたいと思っている。
- 進捗状況については皆さまにお話するので、引き続き努力していきたいと思っている。
- 本日は貴重な時間をいただき、皆さまと様々なお話ができた。
- すぐにできるものとできないものがあるが、これからも皆さまと話し合いながら、1つ1つ解決していくことが地域の発展につながると思っている。
- 地域の課題については承知しているので、これからもいろいろな形の中で検討し、よりよい話し合いができるように進めていきたい。